

静岡ふるさと通信 vol.06

2024年新茶シーズン到来

茶畑の新芽が輝き、爽やかな風が心地良い初夏。立春から88日目にあたる5月1日に八十八夜を迎え、日本一の茶どころ静岡県が主役になる季節がやってきました。県内では、4月12日の株式会社静岡茶市場での新茶初取引を皮切りに、皇室への献上茶謹製式典、新茶贈呈式等、静岡県の新茶の魅力を発信する様々な行事が行われ、新茶シーズンの到来を盛り上げました。

ー 4月12日 静岡茶市場で新茶初取引

今年の新茶初取引は「少しでも早く新茶の香りを全国に届けたい」との思いから、市場開設以来、最も早い4月12日に実施されました。最高値は、JAしみず両河内支店出荷の1,111,111円/kgです。



初取引の様子



1kg100万円超のお茶

ー 4月23日 皇室献上茶謹製式典

静岡茶業の振興と志気の鼓舞につなげるため、静岡県は毎年、県内主要茶産地が交代で、皇室に献上する手揉茶を謹製しています。今年には浜松市の茶園が指定され、4月23日に県茶手揉保存会会員が、熟練の技で指定園のお茶を手揉みし、上質なお茶に仕上げました。献上茶は、5月22日に皇室へお届けしました。



手揉みの様子

ー 5月10日 新茶贈呈式

県内16産地の茶娘や観光大使等が、各地の新茶をPRしながら、増井静岡

県副知事に新茶を贈呈しました。11月には全国お茶まつり静岡大会が浜松市で開催されます。その公式アンバサダーに就任したfishbowlの大白桃子さんも茶娘として登場しました。



新茶贈呈式



fishbowlの大白さんと増井副知事

今年は3月下旬の冷え込みで桜の開花時期がずれたように、新芽の生育も遅れ、店頭の新茶が並ぶのが例年より少し遅い所もありました。「その分、新芽がゆっくり柔らかく成長していて、美味しいお茶になってますよ」と都内にある静岡ゆかりのお茶屋さんが教えてくれました。静岡県お茶振興課の担当者から、「今年のお茶の新芽は、霜の被害にあうこともなく、順調に生育しました。香り高い山のお茶や味わい深い深蒸し茶など、様々な静岡の新茶を楽しんでください」とコメントがありました。新茶の時期にしか味わえない「青々とした爽やかな香り」と新鮮なお茶の風味」を皆様も御堪能ください。まんぷく静岡in東京では、都内で静岡県のお茶を購入できるお店を紹介しています。

「まんぷく静岡in東京」とは

「まんぷく静岡in東京」は、首都圏での静岡応援団を増やすため、静岡県東京事務所職員が自ら取材して集めた首都圏の静岡ゆかりのお店や静岡関連イベント、県内の観光情報などを随時発信しているSNSとWebサイトです。



WEB



Facebook



instagram



X

「まんぷく静岡in東京」のフォローをお願いします。

人々を惹きつける「静岡の食文化」の魅力発信

[株式会社Teable代表取締役]

矢後真由美 氏

令和5年度に「ふじのくに食の都づくり貢献賞」を受賞された株式会社Teable代表取締役の矢後氏に、人々を惹きつける「静岡の食文化」の魅力発信などについてお話をお伺いしました。

－ 会社概要を教えてください。

地方企業のためのシェアオフィス「MICAN」を運営しており、静岡県内企業の首都圏進出を支援する一環として、都内で静岡にちなんだマルシェのイベントを企画・運営しています。各種取組を通じて、地方と首都圏とを結ぶ架け橋としての役割を担うことを目標にしています。



シェアオフィスの様子

－ 昨年度受賞された「ふじのくに食の都づくり貢献賞」での取組内容を教えてください。

東京都品川区大井町駅前で「静岡産直マルシェ」や物産展「いいら市」を企画・開催するとともに、特設WEBサイトを設け、出展者や静岡の食を広くPRすることで静岡の名産品をはじめ「静岡の食文化」の情報発信に寄与しました。遠方での販売が難しい賞味期限の短い商品もマルシェで提供することで、県外でも静岡県の多様な商品を楽しむ機会を創出し、静岡県の魅力をPRしました。



令和5年に開催された静岡産直マルシェの様子

－ 「ふじのくに食の都づくり貢献賞」を受賞されて良かった点がありますか。

授賞式で静岡の新しい食文化（メーカーや料理人の方々）に出会えて、その後に物産展「いいら市」に出店してもらえることになりました。今回の受賞によって様々なヒトとのつながりが生まれて、それがマルシェなどのイベントに活かされたことは大変ありがたく感じています。



静岡産直マルシェの参加者

－ いつからこのような取組を行っているのですか。

平成30年に静岡産直マルシェ実行委員会を立ち上げ、静岡県内の農産品・特産品を首都圏に売り込み、静岡県の魅力発信と両地域を繋げるため、大井町駅前「静岡産直マルシェ」を年に数回、開催しています。



(株) Teable 代表取締役の矢後氏

－ 今年の静岡産直マルシェの開催予定を教えてください。

6月1日（土）と2日（日）の午前11時から午後5時まで、JR大井町駅前西側アワーズイン阪急前で「静岡産直マルシェ」を開催します。また、「静岡産直マルシェ」と連動して、6月5日から10日の5日間、イトーヨーカドー大井町店で静岡物産展（静岡いいら市）も開催します。さらに11月にも「静岡産直マルシェ」を開催する予定です。

－ 6月の静岡産直マルシェの見どころを教えてください。

静岡県特産の新茶飲み比べ（池ノ谷・閑蔵地区や工房ティファームの川根茶：川根本町、菊川市茶業協会の菊川茶：菊川市）や旬の桜えび（原藤商店：静岡市）をはじめ、地酒（花の舞酒造：浜松市）、浜松の新名物うなぎいも（うなぎいもストア：浜松市）、帆布バック（辻村縫製：浜松市）など

静岡県各地の特色ある産品に出会えます。また、御来場者の皆様に楽しんでいただける特別企画として、静岡ゆかりのアーティストや静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」が登場し、静岡産直マルシェを盛り上げます。

－ 矢後さんがマルシェを開催する原動力は何ですか。

静岡県内のメーカーや生産者の方々が都内でテストマーケティングを行い、販売促進のきっかけづくりに貢献できていることはやりがいに感じています。実際に出店者の方々から「マルシェに参加できて良かった」や、来場者の方々から「静岡が好きになった」というお言葉もいただき、成功事例になっていると実感できました。

－ 今後マルシェでやりたい企画はありますか。

過去のマルシェで、大井町商店街の方々に静岡の食材を使ってもらうコラボ企画を実施しましたが、もう一度やってみたいと思います。やきいも屋さんや富士宮市の無農薬のさつまいもを提供したり、お菓子屋さんや静岡県の抹茶を使ってもらったり、好評な企画

でした。また、静岡ツアーを企画して、大井町商店街の方々を対象に静岡県内の出店者や生産者の食の現場を体感できるガストロノミーツーリズムをやってみたいと思います。

－ マルシェを通じて首都圏と静岡が繋がっていると実感はありますか。

マルシェで始めた取組が近隣の大型店舗の目に留まり、「いいらし」という新たなイベントが誕生したことで、さらに首都圏と静岡が繋がるきっかけとなっていると感じています。また、出店者の方々においても売上げ実績が確実に上がっていることはマルシェのPR効果でもあると考えています。

－ 矢後さんにとっての「静岡の食文化」の魅力を教えてください。

「静岡の食文化」は、海の幸や山の幸があり、それぞれの季節で旬なものが楽しめるところが一番の魅力だと感じています。独自の食文化を育てようというメーカーや生産者の方が多いので、様々な美味しいものがあるのも魅力で、熱い思いをもってやっている方が多いです。特に、県内のお茶農家や問屋の方々においては、様々な味わい

や香りのお茶を楽しめる工夫を凝らしているため、その魅力を最大限に発信できればと考えています。

－ 最後に今後の取組の展望を教えてください。

今後は、大井町だけでなく、都内の他の地域でも「静岡産直マルシェ」を開催し、静岡の魅力ある食をより一層PRしていきたいです。季節や地域・スペースに合わせて企画内容を調整し、首都圏の皆様が静岡の魅力を知っていただく工夫を考えています。

また、海外でも静岡の食をPRできるように、東南アジアの食料品店などに静岡コーナーを設置したり、国内外の食品展示会において静岡をPRするなどの取組を行っていく予定です。

静岡産直マルシェの詳細はこちら



数字で見える静岡県 ～医療機器生産金額日本一～

静岡県は、富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトなど、医薬品・医療機器関連産業の集積や活性化に取り組んでいます。静岡県の医療機器生産金額は、全国1位です。

医療機器の生産金額(令和3年)

区分	1位 静岡県	2位 栃木県	3位 福島県	全国
生産金額	339,104	274,413	252,122	2,601,947

単位:百万円

出典:「厚生労働省 薬事工業生産動態統計年報」

おすすめの地域情報 ～中部 2024年度 藤枝セレクション決定～

藤枝で作られる様々な地場産品の中から「藤枝の誇り」「安心の証」「コトづくり」に優れた、藤枝を代表する商品を認定する「藤枝セレクション」。2024年度は、どれも歴史ある3品が認定されました。「サッカーのまち藤枝」を代表するお菓子で、小豆餡に新たに抹茶餡と紅芋餡の味を加えた「サッカーエース最中」。徳川家康公が藤枝宿を訪れた際に柿を献上した逸話を元に創作した、干柿に白餡を詰めた「長寿柿」。日本三大玉露産地の岡部町朝比奈の玉露を、香り豊かに焼き上げた「玉露娘」。藤枝市制施行70周年・サッカーのまち100周年の年にぴったりの藤枝を代表する商品が認定されました。藤枝を訪れた際は是非、御堪能ください。



サッカーエース最中(小豆餡+抹茶)



玉露娘



藤枝セレクション
FUJIEDA SELECTION



長寿柿



藤枝市制施行70周年・サッカーのまち100周年

詳細は
こちら



東部 第32回富士本町軽トラ市開催

商店街を歩行者天国にして、軽自動車で地元の新鮮な野菜や果物・食品・雑貨などを販売します。

- ◆ 日時 令和6年6月16日（日）9:30～14:00
- ◆ 場所 富士本町商店街
- ◆ 主催 富士本町商店街振興組合

詳細はこちら



西部 菊川で田んぼアートを楽しもう

田んぼアートとは、水田をキャンパスに見立て、色の異なる古代米を使って巨大な絵や文字を作り出すプロジェクトです。菊川市内田の稲荷部（いなかべ）地区の「田んぼアート菊川」は、今年で17年目になります。田んぼアートは、6月中旬から絵柄が鮮やかに浮かび上がり、7月上旬から見ごろを迎えます。9月には豊かに実った稲を収穫するため、田んぼアートにお別れします。田んぼアート全体を御覧になるには、やぐらからの鑑賞をおすすめします。事前申し込みは不要です。当日、会場でお申し込みください。



出典：菊川市

◆やぐら鑑賞

期間：令和6年6月15日（土）～8月12日（月）の土日祝日
時間：9:00～16:00
料金：大人200円 小学生100円

◆大鑑賞会

時期：令和6年7月7日（日）
時間：9:00～16:00
料金：大人200円 小学生100円

◆ライトアップ鑑賞会

時期：令和6年7月20日（土）、21日（日）
時間：19:00～21:00
料金：大人200円 小学生100円

◆収穫祭

時期：令和6年9月8日（日）
時間：10:00～
料金：500円（軽食飲み物付き）

【お問い合わせ】

菊川市商工観光課 ☎0537-35-0936（平日）
田んぼアート菊川実行委員会事務局 ☎090-7049-3108

伊豆 幻想的な夜の修善寺を散策 ホタルの夕べが開催されます

修善寺温泉街にある赤蛙公園では、5月下旬から6月中旬ごろまで、ホタルを鑑賞することができます。入場は無料。マナーを守ってお楽しみください。

あわせて、修善寺温泉街のライトアップが楽しめる『修善寺温泉ナイトウォーク』も開催されます。幻想的な夜の修善寺温泉街の散策もお楽しみください。

- ◆ 場所 修善寺温泉赤蛙公園
- ◆ 見頃 20時頃
- ◆ アクセス バス：修善寺駅より8分「修善寺音泉」下車
お車：東名沼津ICより約30分
- ◆ 注意事項 ホタルは明かりが苦手な生き物です。ホタルにライトを向けたり、フラッシュ撮影は絶対にしないでください。



お問い合わせ 修善寺温泉旅館協同組合 ☎0558-72-0271

編集後記

令和6年4月に着任いたしました次長の榎本です。私自身、初めての東京勤務で不慣れなところがありますので、読者の皆様から東京の良いところを情報提供いただくと大変ありがたいです。「静岡ふるさと通信」では、一人でも多くの静岡ファンを獲得するため、「静岡」を感じられる様々な記



静岡県東京事務所
次長 榎本剛之

事を職員が心を込めてお届けしてまいります。今後とも御愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

静岡ふるさと通信に関するお問い合わせ

静岡県東京事務所
〒102-0093 東京都千代田平河町2-6-3都道府県会館13階
☎ 03-5212-9035 ✉ tokyo@pref.shizuoka.lg.jp